

## 令和6年度 座間高等学校 不祥事ゼロプログラム

## ○ 課題・目標別実施予定表

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員各自が、公務を離れても公務員としての自覚と高い倫理観に基づいて行動し、非違行為をしない・させない。	
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為をしない・させない教育環境をつくる。	
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ行為をしない・させない職場環境をつくる。	
体罰、不適切な指導の防止	授業、部活動等において体罰や不適切指導が発生しないようにする。	
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	校務グループ等における業務遂行体制を点検・改善・整備する。	
業務執行体制の確立(情報共有、相互チェック体制、業務の精選による多忙化の解消・集中力の維持)	校務グループ等における業務遂行体制を点検・改善・整備する。	
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	個人情報等の管理を徹底し、事故・不祥事を起こさない・起こさせない。	
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故を起こさない・起こさせない。	
会計事務等の適正執行	県費・私費(部活動費を含む)会計を適正に処理する。	
政治的中立性の厳守	教育公務員として、政治的中立性を自覚し、不適切な行動をとらない・とらせない。	
若手教職員の育成	管理職がファシリテーターとなり、特に若手職員への不祥事防止に係る知識の継承・定着を図るとともに、その不祥事防止意識を高める。	